

平成29年6月1日号 (No.176)

「正しい叱られ方」

伊丹市立総合教育センター
所長 後藤 猛虎

産経新聞の「にっぽん再構築」という記事の中に次のような話が出ていました。

「ちょっと、何してるの！」東京都のスーパー。医師の須藤暁子さんに見とがめられ、その男の子は手を止めた。4歳ぐらいか。棚に並んでた卵のパックを次々と床に投げ捨て、踏みつぶしていた。店員が来ても、悪びれる様子はなく、きょとんとしている。30代とみられる母親が駆け寄ってきた。



店員から事情を説明され、謝罪するのかと思いきや…。「うちの子を犯人扱いして、もし間違っていたらどうするの！育児というのは叱らないものなのよ！」あっけにとられている須藤さんらに、最後にぼそりと吐き捨てた。「面倒くせーんだよ」という話です。

最近、この記事のように悪いことをしても、しっかり子どもを叱れない親が増えてきているそうです。それは、この母親が子どもだった20～30年前、米国の「叱らない子育て」論が流行したこと、少子化で兄弟が少なく甘やかされて育てられたことかららしい。記事の母親は、まさに叱られずに育った子どもだったのでしょう。だから、叱り方を知らなかったのかもしれませんが。

さて、独自の「コミュニケーション教育」メソッドで、学級崩壊を立て直してきた菊池省三さんは、子どもたちには正しい叱られ方を教えなければいけないと言っています。それには5段階あるそうです。1段階は受容です。2段階は反省。3段階は謝罪。4段階は改善。5段階は感謝です。

受容というのは、子ども自身が叱られていることを聞き入れることだそうです。最近、これをできない子が多いようです。叱られていても無視したり、悪びれる様子がなかったりします。叱られていることに耳を傾け、うなずける子をまず育てる必要があります。次に、子どもたちが行いを振り返り、良いか悪いかを考えること。そして、「ごめんなさい」が言え、悪いことを改め良くなること。最後の感謝は、叱るのは存在を認め、大切に思っている証であることに気づき、ありがたうと思う気持ちをもたせることだそうです。菊池さんのようになかなか叱られ方を教える先生はいません。そのため、子どもは、叱られていることに対して、反省の態度や気持ちが希薄になるのかもしれませんが。

また、菊池さんは「叱ることの効果は、どれだけ褒めてきたかに関わる」と言っています。叱る以上に褒めることが大切なのでしょう。叱ったことがどれだけ心に響くかは、叱ってばかりではなく、子どもを認めどれだけ褒めたかによるのです。心すべき言葉です。

参考資料：産経新聞2016.11.29朝刊

：「学級崩壊立て直し請負人」 菊池省三 著

指導改善のポイント

～平成29年度 全国学力・学習状況調査から～

平成29年度「全国学力・学習状況調査」が実施されました。通算10回目となった調査から、今後の指導改善につなげていきましょう。今回は算数と数学について特徴的な問題に注目して、授業アイデア例を考えたいと思います。

小学校算数

※小学校算数B問題の4を活かした授業アイデア例

「日常生活のできごとを表やグラフに表そう」

（問い）

下の表をもとに次の式をつくり、ハンカチとティッシュペーパーを両方持ってきた5年生の人数を54人と求めました。

$$70 - 61 = 9 \quad 9 - 1 = 8 \quad 62 - 8 = 54$$

この式の中の「9」は、ティッシュペーパーを持ってこなかった人数の合計を表していて、表のオにあてはまります。

では、この式の「8」はどのような人数を表していますか。言葉を使って説明してみましょう。また、この「8」は、表のどこにあてはまりますか。

ハンカチとティッシュペーパーを持ってきた人数 (人)

学年	ハンカチを持ってきた	ティッシュペーパーを持ってきた	両方持ってこなかった	学年の人数
4年	40	47	2	52
5年	62	61	1	70
6年	52	57	1	60

5年生のハンカチとティッシュペーパー調べの結果 (人)

ハンカチ	ティッシュペーパー		合計
	持ってきた	持ってこなかった	
持ってきた	ア	イ	62
持ってこなかった	ウ	1	エ
合計	61	オ	70

① 目的に応じた表に作り直す

オには「9」が入るんだね。

ということは、イが、 $9 - 1 = 8$ だ。

イは、ハンカチは持ってきたけど、ティッシュペーパーは持ってこなかった人だね。

さらに、エは $70 - 62 = 8$ ということもわかるね。すると、ウが $8 - 1 = 7$ ということになるね。

（問い）

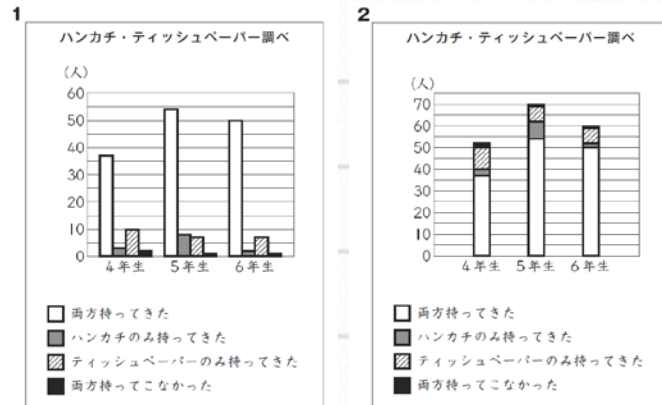
それぞれの学年の、「学年の人数」をもとにしたときの「ハンカチとティッシュペーパーの両方を持ってきた人数」の割合が最もよくわかるグラフはどれかな？

② グラフを批判的に考察する

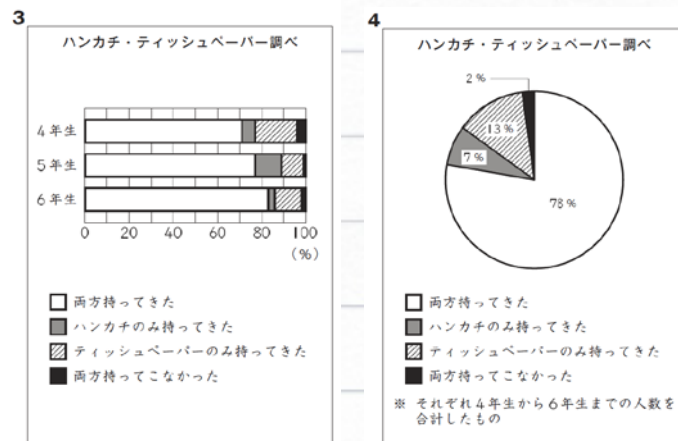
学年の人数がちがうから比べられないよ。

割合がわかりやすいグラフが必要ね。

それぞれのグラフから何がわかるか考えてみよう。



1と2は、どちらのグラフも人数は分かりやすいけど、割合はわからないね。



どちらのグラフも割合がわかるけど、4は学年別の割合はわからないね。3ならハンカチとティッシュペーパーの両方を、いちばんよく持ってきている学年の割合がわかるね。答えは3だね。

中学校数学

※中学校数学B問題の3を活かした授業アイデア例

「判断した理由を数学的に説明しよう」

（問い）

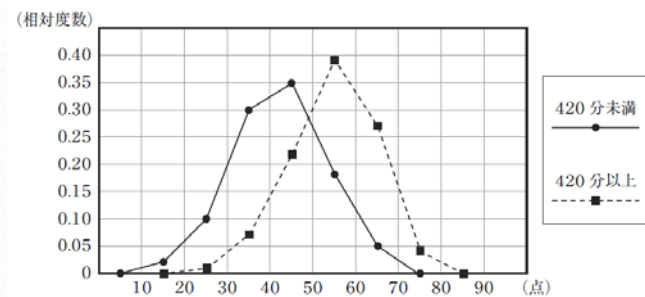
下の度数分布多角形から、「1週間の総運動時間が420分以上の女子は、420分未満の女子より体力テストの合計点が高い傾向にある。」と主張することができます。

そのように主張できる理由を、2つの度数分布多角形の特徴を比較して説明しましょう。

体力テストの合計点の度数分布表

階級(点)	420分未満		420分以上	
	度数(人)	相対度数	度数(人)	相対度数
以上 未満				
10～20	1	0.02	0	0.00
20～30	6	0.10	1	0.01
30～40	18	0.30	6	0.07
40～50	21	0.35	19	0.22
50～60	11	0.18	33	0.39
60～70	3	0.05	23	0.27
70～80	0	0.00	3	0.04
合計	60	1.00	85	1.00

若菜さんが作った度数分布多角形



① 問題解決の見通しを立てる

主張は正しいように思えるけど、そう判断する根拠が必要だね。

それぞれの人数がちがうから、相対度数を使って、各階級ごとの比較をすることが必要になるんだね。

それをわかりやすく表したのが下の度数分布多角形だね。

② データを読み取り、資料の傾向を調べる

それぞれの度数分布多角形の特徴を考えてみよう。

度数分布多角形が、420分未満よりも420分以上の方が右側にあるね。

2つの度数分布多角形が同じような形だね。

③ 根拠を明確にして説明をする

調べて分かったことを基にすると、どのようなことが言えますか。考えたこと、そのように考えた理由について話し合ってみましょう。

2つの度数分布多角形が同じような形ということは...

420分未満の山の頂点よりも420分以上の山の頂点の方が右側にあるから...

結論はどうになりましたか。そう考えた理由を説明してみましょう。

1週間の総運動時間が...と思います。なぜなら...

④ 問題解決の過程を振り返る

これまでの学習を振り返って、わかったことや気づいたことを発表してみましょう。

2つの度数分布表が同じような形で、420分未満の度数分布表よりも420分以上の度数分布表の方が右にありました。だから、1週間の総運動時間が420分以上の女子は、420分未満の女子より体力テストの合計点が高い傾向にあると言えることがわかりました。

この学習を活かして新たな活動に取り組んでみましょう。

『家庭学習』 のすすめ

小学校

低学年では…

- 学習方法を **丁寧に指導** し、家庭学習のやり方を理解させる
- 宿題の『**提出**』『**点検**』『**返却**』の徹底を図る
- 「やればできる」という自信をつけることができるように、宿題のノートには一言 **コメント** をそえる
- 間違いはそのままにせず、必ず **やり直し** をさせるようにする
- 基礎基本の問題は **反復練習** をしっかりとて、学習の内容を定着させる

高学年では…

- 基礎力の向上を目指し、**宿題＋自主学習(自学・自勉・自主学習ノート)** に取り組み、学習をする習慣をつける
- **予習** と **復習** を心がけ、学力の向上と学習の習慣化を目指す

中学校

- **自主学習ノート** を活用し、自主学習(予習・復習)の習慣をつける
- 条件作文や英文日記など、自分の **考えや意見を書いたり、文章をまとめたりする** 活動を週末の宿題として定期的に出す
- 1週間分の家庭学習計画表を立てさせ、日々の家庭学習の時間や内容を点検し、**計画的な学習** を促進する
- 宿題の内容を授業で取り扱うなど、**宿題と授業を連動** させる

『家庭学習のへや』を活用しよう！

教科書にピッタリあったプリントが**5000枚以上** ※解答や解説動画もついています。

伊丹市立総合教育センターのHPから「家庭学習のへや」をクリック <http://www.itami.ed.jp/>

小学校…国語・社会・算数・理科 中学校…国語・社会・数学・理科・英語 を用意しています。

発行 伊丹市立総合教育センター

月～金 9:00～21:00 所在地 〒664-0898 伊丹市千僧1丁目1番 TEL 072-780-2480 FAX 072-780-2482
土 9:00～17:00

休館日 日曜・祝日・年末・年始 総合教育センターHP <http://www.itami.ed.jp/>